



地域で・家族で“子(孫)育て”

保育コンシェルジュ便り(第19号)

戸田市役所保育幼稚園課発行 2022. 8月



戸田市では、保育のサービスの一環として平成31年4月から「保育コンシェルジュ」を配置し、子育て相談や保育施設利用にあたっての保育サービスの情報提供等を行っています。最近の相談内容では、「共働きだが、両親が遠方においてサポートを受けられない」、「引っ越しをしたばかりで頼れる人がいない」等、不安を抱えながら子育てをしている家庭が増えているようです。この子育て世代の不安を解消するカギとなるのが、「祖父母世代」です。時代によって、良いとされる「子育て」は変化しています。「パパママ世代」と「祖父母世代」が、今と昔の子育ての違いを知ること、より良い関係が築ければ、お子さんの笑顔もキラキラ輝くことでしょう。

今号は、夏のお休みなどで一緒になる機会がありましたら、ぜひ、祖父母世代の方にも読んでいただけたらとの思いで作成しました。 ★保育コンシェルジュ直通電話 TEL048-443-5611★

これから孫育てをする祖父母へ

子育ての主演は、パパ・ママです。パパ・ママの話に耳を傾け、見守り、協力しましょう。

「実家が遠方にあると頼るところがない」等、困っているパパ・ママがいます。地域の子育て世代にも目を向けてみましょう。

これから子育てをするパパ・ママへ

祖父母の協力を当たり前と思わず、感謝の気持ちを忘れずに伝えましょう。

協力してほしいことやパパ・ママの思いは、具体的に伝えたり話し合ひましょう。

「親しき中にも礼儀あり」程よい距離感がいいですね。

祖父母世代の声

うれしかった(๐^ー^๐)

- ・孫の笑顔に癒された。
- ・孫から刺激を受け元気になり、老化防止につながった。
- ・「ありがとう」「たすかった」と言ってくれた。
- ・誕生日や七五三等の行事と一緒に参加できた。
- ・孫と一緒にいることで近所の人と話す機会が増えた。

こまった(ノ_ノ)

- ・時代が違うと意見を否定された。
- ・良かれと思ってやったのに「そんなこと頼んでいない」と言われた。
- ・孫の面倒を見るのが当然のように言われた。
- ・孫に洋服を買ってあげたら、センスの悪さを言われた。



パパ・ママ世代の声

うれしかった(๐^ー^๐)

- ・子ども達をかわいがってくれた。
- ・子どもの成長と一緒に喜び合えた。
- ・産後の体を気遣ってくれた。
- ・息抜きしたいときに預かってくれた。
- ・保育園や習い事の送迎をしてくれた。
- ・話を聞いてもらってすっきりした。
- ・誕生日や入園、入学等のイベントで祝ってもらえた。

こまった(ノ_ノ)

- ・頑張っていることを否定された。
- ・ほかの子と比べられたり、昔は〇〇だったと比べられたりした。
- ・親の意見を聞かずに、おもちゃやジュース、おやつ等をかってに買い与えた。



←こちらの読み取りコードより、前号までの「保育コンシェルジュ便り」がご覧になれます。保育施設等の入所に関する情報等が、ご覧いただけます。



子育ての今と昔



	祖父母世代	パパ・ママ世代	豆知識
だっこ	少し泣いてからのほうが、おなか がすいてミルクや母乳を飲む。ま た、泣くことで肺が強くなると言 われていた。	泣いたらすぐに抱っこ。 スキンシップが大事。 	赤ちゃんは、泣くことで要求を伝 えています。抱き癖などは心配せ ず、泣いたらすぐに抱っこして安 心させてあげましょう。
授乳	3時間おきに授乳と 言われていた。 	親子に合った形であれば、母乳・ミ ルクどちらでも。 母乳の場合は3時間おきではなく 赤ちゃんのタイミングで。	ミルクの方が丈夫に育つと言われ た時代もありますが、母乳で足り ているようなら母乳1番で。
卒乳	母子手帳に「1歳までに断乳（マ マがリードして授乳をやめるこ と）の完了」と記載されていた。	「いつまでに」という決まりはな く、自然の流れで「卒乳」という考 えが主流になっている。	子どもとママのペースに 合わせましょう。 
水分補給	水分補給に果汁や 白湯をあげていた。 	お風呂上りや帰宅時等、のどの渇 きを潤すのは母乳で十分。 ミルクの場合は、白湯やノンカ フェインの飲み物を。	果汁に含まれるビタミンCは母乳 やミルクに十分含まれているの で、早くからあげなくても大丈夫 です。
うつぶせ	頭の形がよくなる。 寝つきがよくなる。 	乳幼児突然死症候群（SIDS）から 赤ちゃんを守るため、あおむけで 寝かせるようにする。	保育園での午睡時は、0歳児は5 分毎、1歳児は10分毎、2歳児 は15分毎、3歳以上時は30分 毎にプレスチェックを行っています。
離乳食	生後2か月から果汁を与え、4か 月頃から離乳食を開始していた。	咀嚼機能の発達の観点から、 スプーン等の使用は、 離乳食の開始 5～6か月頃。 	はちみつ、黒糖等を含む食品は、乳 児ポツリ又ス症を引き起こす危険 があるため、1歳を過ぎるまでは 与えないようにしましょう。
おむつ	赤ちゃんの発達のため布おむつ がよいと推奨された時代もあっ た。	紙おむつでも赤ちゃんの成長に影 響を及ぼすことはない。汚れたら 取り換え、清潔に保つことが大切。	脳と体の発進が進むと、自然にお むつがはずれるでしょう。
日光浴	日光浴をしないとくる病（ビタミ ンD欠乏症）になると言われてい た。	1998年から、母子健康手帳か ら「日光浴」の記述が消え、赤ちゃ んを外気や温度差に慣らす「外気 浴」を勧める記載になった。	外気浴の際は、紫外線が強い時間 帯（10時～14時）はなるべく避 け、帽子等で直射日光を受けない ように注意しましょう。
スキンケア	おむつを替えた後や、お風呂上り にベビーパウダーをぬっていた。	入浴やシャワーで清潔にした後、 肌の状態に合わせてベビークリ ームやローション等で保湿をする。	ベビーパウダーは汗の出る毛穴が 詰まってしまうので、つけすぎに 注意しましょう。
しつけ	「しつけのためには体罰もやむ を得ない」と考える人もいた。 	行動や言葉を否定せず、子どもの 気持ちに寄り添い、「〇〇したかつ たのね」等と代弁して伝えたりす る。	暴言や暴力、「叩く」「外に出す」等 は体罰にあたり、法律で禁止され ています。 